



「SDGs経営と実力発揮組織づくり」

●SDGsとは

- ・SDGsとは「持続可能な開発目標」
- ・国際社会共通の目標
- ・2030年までの実現を目指す
- ・17の目標と169の目標をより具体的にした行動からなる
- ・SDGsに認証機関はない



●中小企業がSDGs経営に取り組むべき理由

①	SDGsは2030年まで続く環境の変化。変化に対応していくことが、生き残るために必要
②	SDGsに認証機関はない。そのため何に取り組んでもよい。中小企業の強みを活かすことができる
③	SDGsに取り組むことを内外にアピールすることで、今している事業や仕事内容を見直すことにつながる
④	今後、SDGsを学んだ子どもたちが就職活動をするとき、SDGsに取り組む企業を選択する可能性がある

●日々、実践できるSDGsにするために

①	今している仕事で、SDGsの17のゴールのいずれかにつながるものがあるか
②	今している顧客サービス、製品づくりでSDGsのゴールのいずれかにつながるものがあるか
③	それらを踏まえ、SDGsのどのゴールについて、今後どのような取り組みや事業の展開をしていくか
④	何を、いつまでに、どれぐらいするか目標を立て、実践していく

🗨️ 事務所日誌



●2月の事務所の活動

- 10日 井原商工会議所「働き方改革」相談員
- 16日 井原商工会議所人材育成交流会理事会に参加
- 16日 オンラインにてSDGs経営と実力発揮組織づくり講師
- 16日 オンライン早朝読書会「いばら朝喝同好会」に参加
- 22日 オンラインにてゆうかつ(読書会)に参加

■編集好き

▼2月は結構、雪が降ることがありましたよね。朝、目が覚めると一面真っ白で、一瞬、別世界にきたような気がします。雪による事故や生活への影響がなければ、たまに降る雪は気持ちが悪く落ちて、ちょっとした気分転換にもなります(SS)

① 今よく耳にするSDGsとは

今、話題の「SDGs」とは、国連で全会一致で可決された2030年までの取り組みで、17の目標と169の具体的な取り組みから構成されています。その目的は、貧困、地球環境等の社会的課題の解決にあります。またSDGsは、MDGsから発展したもので、当初は発展途上国の支援が目的でした。ですが、支援するだけではなく、支援する先も自立した生活や将来に希望が持てる主体的な取り組みとなるよう、SDGsでは「誰一人取り残さないこと」を目標にしています。

② SDGs経営と中小企業

SDGsは法律でその実施が定められているものではありませんが、これからの中小企業にとって、SDGs経営は必須といえるでしょう。本年度から中学校の教科書にも記載されるようになりました。いずれSDGsを習った子供たちが、就職活動をするとき、SDGsに取り組む企業を就職先として選択するかもしれません。また、SDGsには認証機関がありません。そのため何をどれぐらいするか、企業次第。中小企業は今、していることを、SDGsの17のゴールと紐づけ、本業を発展させながら、社会貢献を行っていくことで、その強みを活かしていくことができます。

③ SDGsは今していることから

果たしてSDGsの17のゴールを本当に実現できるのか、キレイごとのように思えるかもしれませんが、まずは今している事業や仕事がSDGsのどのゴールにつながっているか、見直すだけで、SDGsを身近に感じることができます。世の中の様々な仕事は、社会の「不」を解消するためにあるとって過言ではありません。今、している仕事の延長線に社会貢献があるのです。目の前の仕事に打ち込むことが、SDGsのゴールへの初めの一歩なのです。

事務所のお仕事をご紹介します

●SDGs経営導入研修を行いました

先日、依頼先の企業さまで、「SDGs経営と実力発揮組織づくり」について、導入研修を行いました。次回は、SDGsのゴールに紐づけた自社の取り組みを検討していきます。(妹尾悟)

